

編集委員がインタビュー!

表紙：働く人シリーズに寄せて

獣医さんに伺いました

Q どんな動物を診察しますか。

A 主に、犬と猫です。小動物等を診察することもあります。

Q 仕事のやりがいは何ですか。

A 動物が療養して元気になってくれることはもちろんですが、動物が亡くなった後、しばらくして新しい動物を飼い始めて、また病院へ来てくれた時が本当にうれしいです。動物の一生に関わるので、少しでも飼い主に寄り添えるように取り組んでいます。

Q 飼い主へのアドバイスはありますか。

A 6月1日から動物愛護管理法が改正になりました。既に飼われている犬猫にマイクロチップを装着することは努力義務となっていますが、大事なペットが迷子になった時の対策としてもお勧めします。

また、犬や猫に服を着せるのは動物にとってストレスの要因になります。大切なペットにとって何が大事かを考えて愛情を注いでください。

Q 行政に望むことは。

A 2市1町と獣医師会などが連携し、年に1回犬の飼い方・しつけ方教室を行っています。そうした取り組みを行うことで、病気の予防などにもつながります。今後は猫の飼い方・しつけ方教室も必要だと思います。



みやしま すすむ 宮島 将 さん

市議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。市議会の会議録も見られます。録画放映やSNSもご覧ください。

ふじみ野市議会

検索



6月定例会の傍聴者は36人でした。

次の定例会の
開会予定：8月29日 午前9:30～

請願締切予定：8月19日 午前10:00

市役所4階議場で開催します

議会広報常任委員会

委員長 加藤 恵一	副委員長 鈴木 美恵
委員 鈴木啓太郎	委員 金濱 高顕
委員 民部 佳代	委員 新井 光男
委員 床井 紀範	

表紙の題字を書いた人

葦原中学校3年 滝澤 慶暉さん

ふじみ野



ふじみ野市は、利便性の良い施設が立ち並びながらも自然も多く、緑や季節の花に癒されます。コロナ収束後は行事などが再開し、人々の交流が活発になり、古き良き伝統が受け継がれていくことを望みます。

編集後記

今年の夏は最高気温が35度を超える猛暑日が多く、寝苦しい熱帯夜も続いています。

屋外での運動の際にはマスク着用が緩和され、6月に行われた小学校の運動会では、子どもたちがマスクなしで徒競走や玉入れなどを頑張っていました。

市内の公園では徐々にジャブジャブ池等の流水施設が稼働し、元気いっぱいの子どもの声があふれます。市の文化行事も徐々に再開し、市民のサークル活動も活発になりつつあります。

新型コロナウイルスの一刻も早い収束を願うばかりですが、市議会として新型コロナ関連についての必要な政策的な提言を行い、今後も市民の代表として市政発展のために取り組んで参ります。(床井 紀範)